

# IDE Updates

研究所の取り組みをご紹介します

## 台湾経済研究院との連携研究を行い、セミナーで成果を報告しました

アジア経済研究所は、昨年度台湾経済研究院（TIER）と「台湾のシリコンバレー活用型イノベーション政策：展開と含意」連携研究（主査：川上桃子新領域研究センター 技術革新・成長研究グループ長）を実施しました。

近年、台湾では経済活性化および産業高度化政策の一環として、起業促進への関心が高まっています。今回の連携研究では、そうした政策のなかでもシリコンバレーとのリンケージの強化を通じた起業クラスターの活性化政策に着目し、近年の台湾の起業政策の展開について分析しました。

五月二七日には連携研究の成果を発表するため、ジェットロ本部五階ABC D会議室にてセミナー「台湾の起業支援政策の新潮流」を開催しました。



講演者の様子：林欣吾氏（台湾経済研究院第三研究所長）

今回のセミナーでは、連携研究で出された台湾の起業政策の特徴を踏まえつつ、近年の起業環境やこれまでの起業支援政策の展開を紹介し、五月に発足した蔡英文政権の起業・イノベーション支援策についても報告が行われました。

林欣吾氏（台湾経済研究院第三研究所長）は「台湾の産業競争力の現状と新政権のイノベーション政策の方向性」と題して講演し、台湾経済の発展の現状とともに、蔡英文政権が打ち出すイノベーションとR&D戦略について、クリーンエネルギー産業計画や「アジアのシリコンバレー」構想など五つの重点産業分野を中心に紹介しました。

続く廖淑君氏（台湾経済研究院第三研究所）の講演では、台湾における若年層の創業支援策を取り上げ、政府の組織横断的な起業に関する各種政策や取組みについて報告されました。特に、二〇一四年末に行政院イノベーション・創業政策会合が設立され、各省庁が持つ起業支援の政策資源を組織横断的に総合する仕組みができたことの意味を解説しました。

最後に、川上桃子研究員がシリコンバレーとのリンケージを活用した起業・イノベーション支援策について、台湾人コミュニティの果たした機能や取組みを紹介しました。

一九七〇～八〇年代に渡米した台湾人たちは、留学・就職を経てシリコンバレーで起業家コミュニティを形成し、アメリカと台湾の橋渡し役となっており、台湾のハイテクイノベーションに大きな影響を与えました。川上研究員は、一例として「台湾・スタンフォード・バイオメディカルプログラム」を挙げ、シリコンバレーを活用した医療機器のスタートアップのコミュニティ



会場の様子

の創出、人材育成の取組みと台湾人起業家コミュニティの橋渡しがどのように機能したかについて報告しました。

また、二〇一〇年代以降、シリコンバレーの台湾人起業家コミュニティは規模の縮小や高齢化が進んでおり、今後の取組みに着目していく必要があると指摘しました。

アジア経済研究所では、今後も台湾経済研究院とのネットワークを活用した研究活動を行ってまいります。

（文責：研究マネジメント職 佐々木晶子）